2010年度環境報告データ集

- 環境マネジメントシステム（ISO14001認証取得状況）
- 環境監査（10年度の外部監査結果）
- 環境負荷の全体像（日野自動車の事業活動と環境影響）
- 環境教育（環境教育プログラムの受講者数08年度）
- 環境会計（環境コスト）
- 環境会計（（1）環境保全効果／（2）物流効果）
- 2010年度の主な環境パフォーマンス
  - CO_2総排出量・原単位の推移
  - 排出物量の推移
  - 梱包資材総使用量の推移
  - PRTR法対象物質の排出量の推移
  - VOC排出量の推移（羽村工場）
  - トリクロロエチレン実測値
- 各事業所の環境活動と環境関連法データ
  - 本社・日野工場
  - 羽村工場
  - 新田工場
  - 青梅部品センター
  - 日高配車センター
  - アメリカ
  - タイ
  - インドネシア
  - パキスタン
  - 中国（上海）
  - ベトナム
- グループ会社におけるISO・EMD取得状況
- 2010年度の日野グループ生産拠点における主要環境データ

■ISO14001認証取得状況

対象組織	機能名	認証取得日
本社・日野工場	生産機能、製品開発機能、生産技術機能、本社機能、国内外営業機能	2001年3月24日
羽村工場	生産機能	1999年3月10日
新田工場	生産機能	2000年3月27日
青梅部品センター	部品物流機能	2002年1月11日
日高配車センター	車両物流機能	2002年1月11日

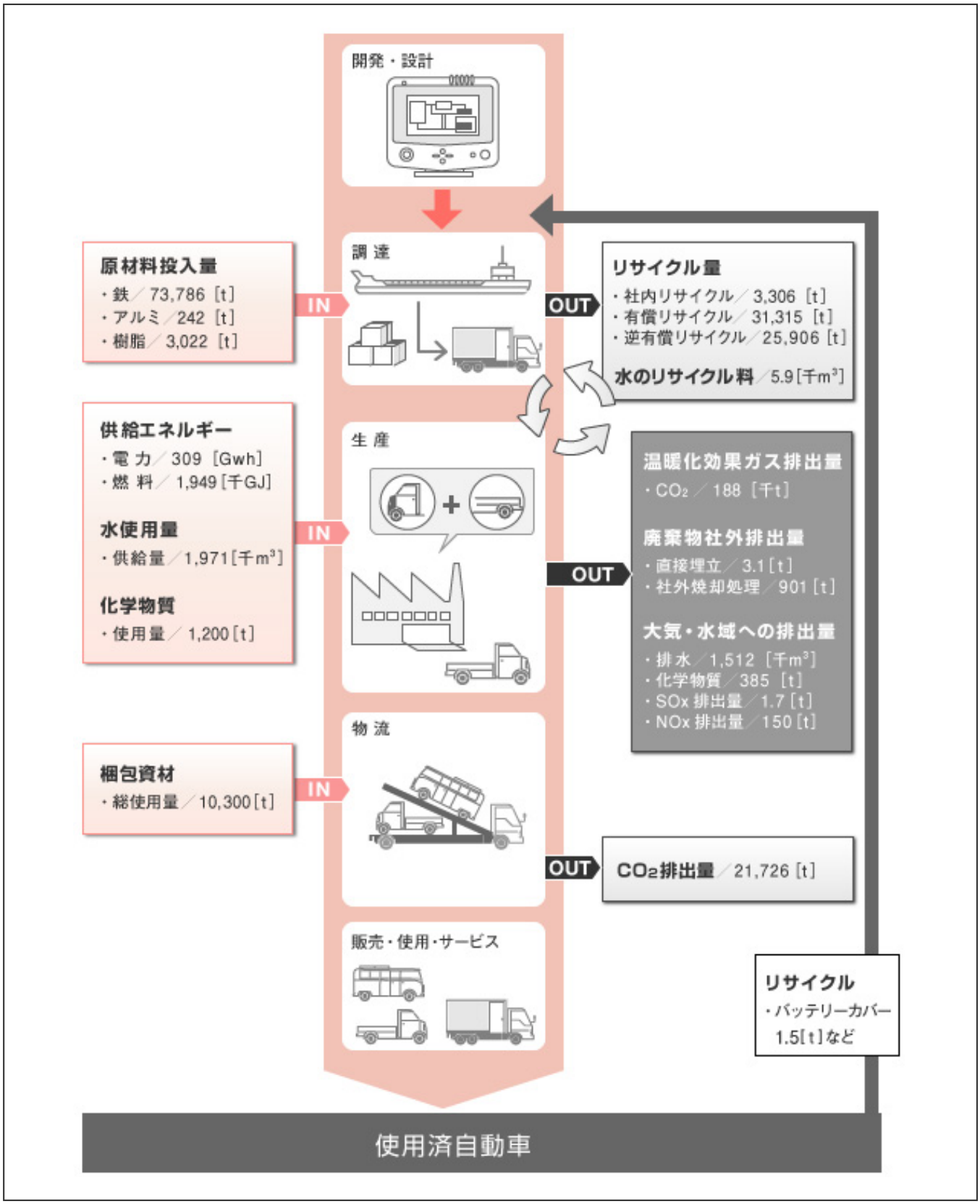
■2010年度の外部審査結果

（単位：件）

事業所名	審査形態	緊急不適合	不適合	観察事項
本社・日野工場	サーベイランス	0	0	4

羽村工場	更新審査	0	0	2
新田工場	サーベイランス	0	0	3
青梅・日高	更新審査	0	2	4

■環境負荷の全体像（日野自動車の事業活動と環境影響）



※データの集計範囲は日野・羽村・新田の3工場を集計しています。

■環境教育プログラムの受講者（2010年度）

（単位：人）

プログラム名	受講者数

新入社員導入研修	326
管理職研修	111

■環境会計（環境コスト）

（単位：百万円）

環境保全コスト			10年度実績		09年度実績		前年との差の主な理由（前年差が20％以上の場合に記入）
分類		主な取り組みの内容	投資額	費 用	投資額	費 用	
(1)事業エリア内コスト			245	754	42	536	
	①公害防止コスト	環境リスク対策費、排水処理費用など	93	377	35	270	投資：リスク対策充実・推進　費用：下水道料金増（09年度は生産減で少）
	②地球環境保全コスト	省エネルギー設備導入など	98	7	7	1	省エネ推進強化・投資基準の緩和、09年度は投資圧縮
	③資源循環コスト	３R促進、廃棄物の処理など	54	369	0	265	投資：切粉リサイクルで大幅投資　費用：PCB処理費用増
(2)上・下流コスト		環境負荷を減らすための追加的コスト	0	88	0	98	
(3)管理活動コスト		自動車リサイクル法対応、EMS維持運用、情報公開	0	443	0	409	
(4)研究開発コスト		環境負荷抑制のための研究開発費	0	25,060	0	22,621	
(5)社会活動コスト			0	0	0	0	
(6)環境損傷対応コスト			0	0	0	0	
合計			245	26,345	42	23,665	

※環境対応とそれ以外の目的のものとの区別が難しい設備投資などについては、環境対応であることが明確に把握できる項目のみを計上しています。

■環境会計（（１）環境保全効果　（２）物流効果）

（1）経済効果

（単位：百万円）

	効果の内容	10年度	09年度	前年との差の理由（前年差が20％以上の場合に記入）
収益	リサイクルによる事業収入	1,539	739	09年度はリーマンショックの影響で大幅減。（参考　08年度実績＝1338）
	その他（　　）			
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	71	9	09年度は省エネ投資少なかったため。（既述）
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	-	-	
	その他（　　）			
合　　計		1,610	749	

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています。

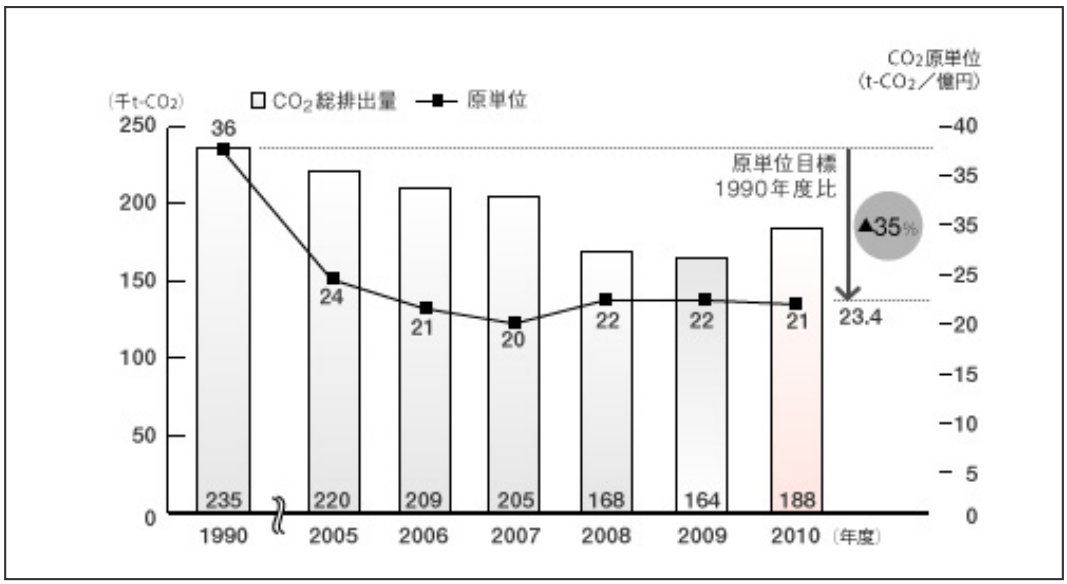
（2）物流効果

項目	10年度	09年度
CO_2低減［ton -CO_2］	1,499	192

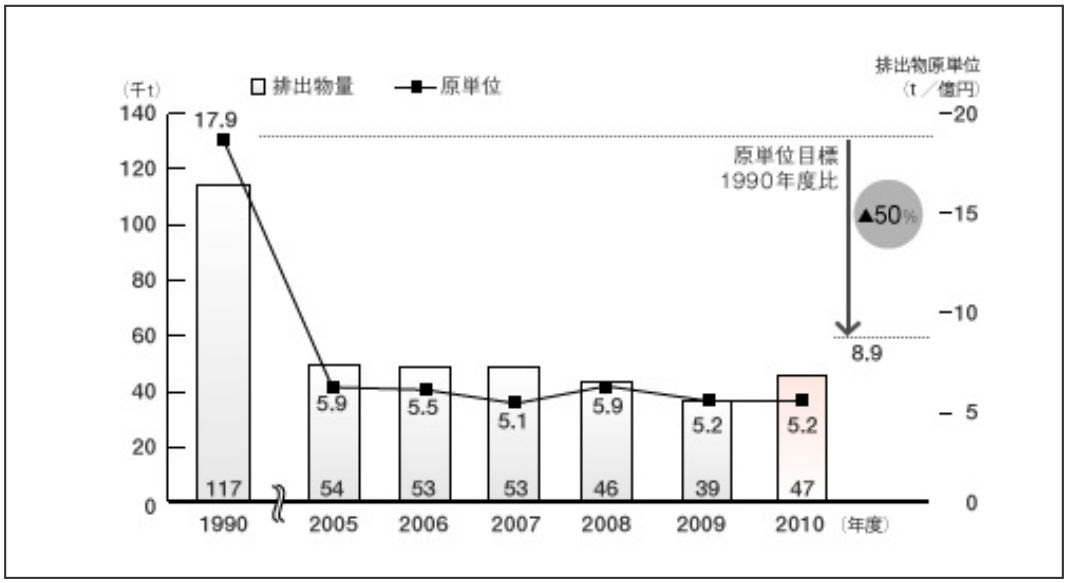
廃棄物低減［t］	4,269	-

※環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています。

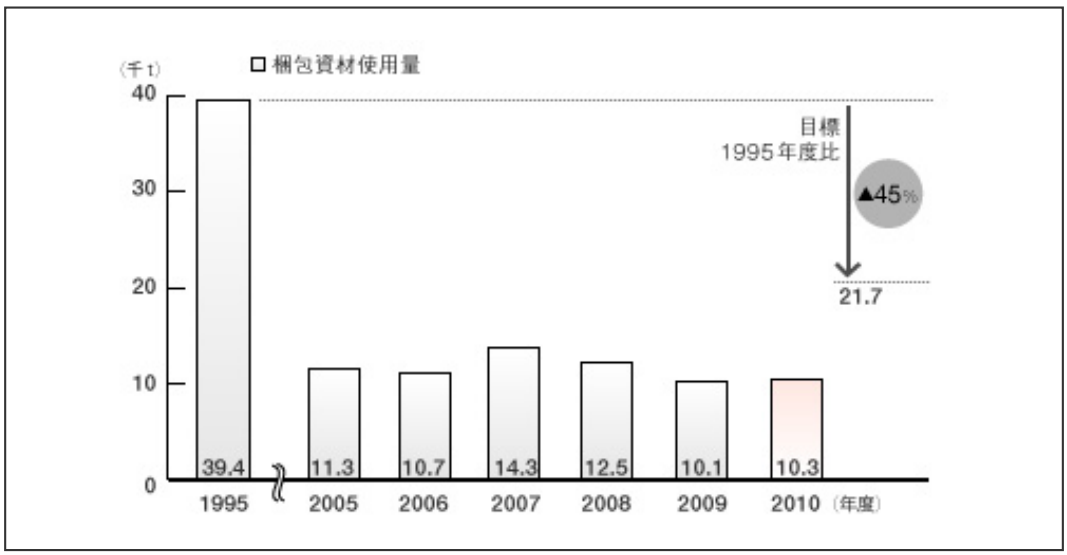
■CO_2総排出量・原単位の推移



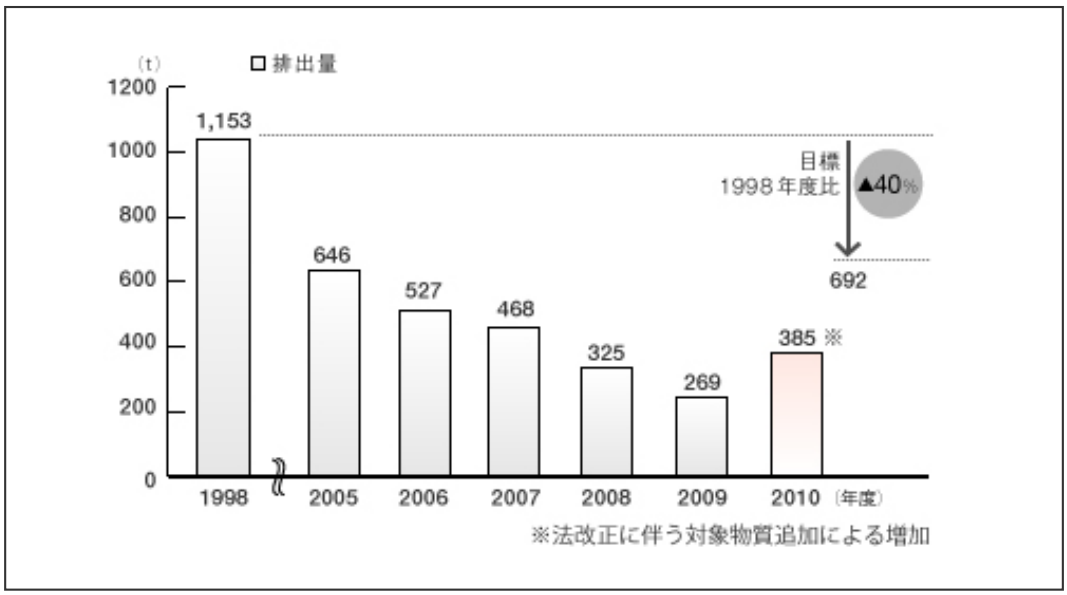
■排出物量の推移



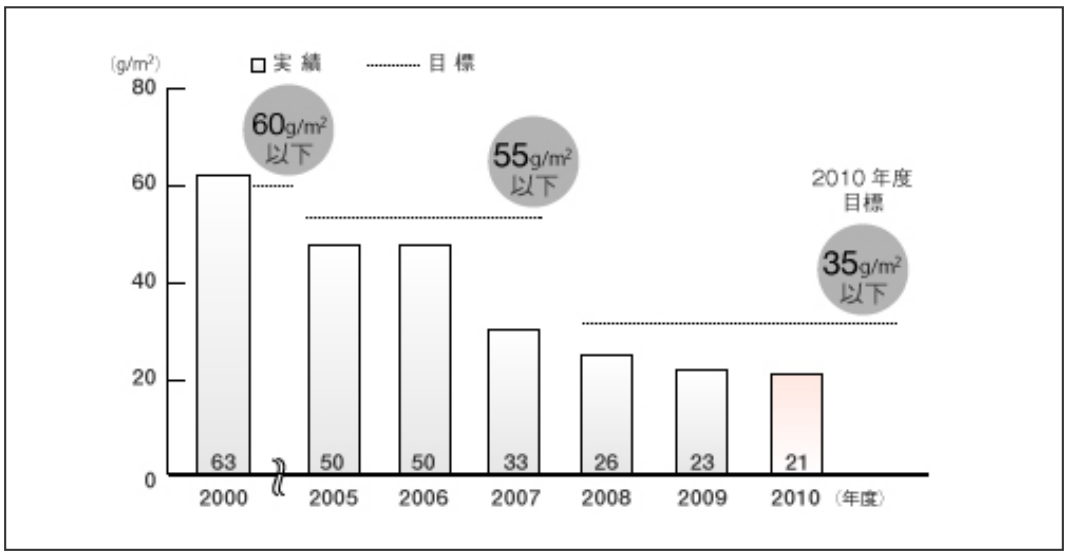
■梱包資材総使用量の推移



■PRTR法対象物質の排出量の推移



■VOC排出量の推移（羽村工場）



■トリクロロエチレン実測値
（単位：mg/l、環境基準値：0.03mg/l）

事業所名	2010年度測定値
本社・日野工場	ND～0.045※
羽村工場	ND～0.27※
新田工場	ND～0.0011

※浄化対策を継続して実施中

■各事業所の環境活動と環境関連法データ

本社・日野工場

ISO14000認証取得
2001年3月24日

JAB CM020　ISO14001 JAER 0233　MGMT. SYS. RvA C 255

本社・工場概要

所在地	東京都日野市日野台3丁目1番地1

主要製品	大型トラック「日野プロフィア」 中型トラック「日野レンジャー」
正社員数	5,700人
敷地面積	447,081 m^2
延床面積	404,977 m^2

環境方針

1. 社会、環境との共生
2. 継続的改善と環境汚染の未然防止
3. 法規等の順守
4. もったいないはすべての基本
5. 一人ひとりの気持ちから

「よい車をつくり、人や地球に優しい輸送をサポートする工場」を目指します。

本社・日野工場では生産および物流過程においても環境負荷を最小化するため環境への取り組みに関する目標を定め、目標達成に向けて積極的に活動しています。

また、トップレベルの環境性能を有する製品を社会に提供し続けることは私たちの社会的責任と考えており、そのため開発・調達・生産準備・生産・事務管理のすべての機能で、環境への影響を認識し、環境との共生を進めています。

さらに、省エネ・省資源活動では、ふだんから「もったいない」を心がけ、ムダ・ムラ・ムリをなくしていくように、社員一人ひとりが認識し活動するとともに、自然環境保護の活動にも取り組んでいきます。

一方、日野工場は住宅地に隣接していることから、騒音や振動、臭気といった感覚公害で、地域の皆様へご迷惑をおかけすることがないように対策を徹底しています。

私たちは、今後も「よい車をつくり、人や地球に優しい輸送をサポートする工場」を目指していきます。

■受賞実績

2003年度　電気安全関東委員会委員長表彰最優秀賞
2005年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2006年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2007年度　電気安全・使用合理化表彰最優秀賞
2008年度　電気安全・使用合理化表彰最優秀賞
2008年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年度　高圧ガス保安協会会長賞受賞
2009年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2010年度　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
　　電気安全・使用合理化表彰最優秀賞

■環境関連法データ

水質（水質汚濁防止法、都条例）
放流水水質分析（河川放流‥‥‥放流先：谷地川経由多摩川）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	4,700	340	1,800
pH	5.8～8.6	7.5	6.9	7.3
BOD（mg/l）	20	2.6	0.5	1.0
COD（mg/l）	-	12	4.9	8.6
SS（mg/l）	40	2.0	1.0	1.6
N-ヘキサン（mg/l）	5	ND	ND	ND
全リン（mg/l）	2	1	0.1	0.5
全窒素（mg/l）	20	13	4.2	9.4
亜鉛含有率（mg/l）	2	0.17	0.07	0.12

フッ素化合物（mg/l）	8	0.23	0.21	0.22

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、都条例）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
ボイラー（都市ガス）	NOx［ppm］	-	37	20	28
	ばいじん［g/Nm^3］	-	0.001	ND	0.001
浸炭炉1号（都市ガス）	NOx［ppm］	180	140	130	140
	ばいじん［g/Nm^3］	0.2	0.001	ND	0.001

ND：定量下限値以下（検出されない）

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			
1	亜鉛の水溶性化合物	2.1	0	0	0.6	0	0	0	1.5
53	エチルベンゼン	16	11	0	1.2	0	0	2.0	1.5
80	キシレン	43	25	0	2.9	0	0	8.7	6.3
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	5.6	0	0	5.6	0	0	0	0
240	スチレン	17	1.2	0	0	0	0	0	16
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	32	13	0	8.8	0	0	6.6	3.9
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2.6	1.3	0	0.7	0	0	0.6	0
300	トルエン	25	10	0	0	0	0	3.4	12
392	ノルマルヘキサン	4.7	0.3	0	0	0	0	0	4.4
400	ベンゼン	0.8	0	0	0	0	0	0	0.8
412	マンガン及びその化合物	2.1	0	0	0.7	0	0	0	1.4
438	メチルナフタレン	14	0.7	0	0	0	0	0	13

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

羽村工場

ISO14000認証取得
1999年3月10日

工場概要

所在地	東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1
主要製品	小型トラック「日野デュトロ」「ダイナ」「トヨエース」「ランドクルーザープラド」「FJクルーザー」
正社員数	3,300人

敷地面積	750,770 m^2
延床面積	384,450 m^2

環境方針

1. 法令等の順守
2. 汚染の予防・継続的改善による未然防止
3. 省エネ・省資源・省廃棄物等
4. 地域社会との共生

私たちは『地域に尊敬される工場』を目指します。

羽村工場では、すべての活動の基本として「３つの第一」（環境第一・安全第一・品質第一）を環境方針に掲げ、一人ひとりが環境への関わりを考え、環境の保全および改善活動を推進しています。

また、環境を「守る・守れる工場」として全員で高い目標を設け、順法はもとより地球温暖化防止策等に積極的に取り組み環境負荷の低減、環境リスク発生の未然防止に努めていきます。

私たちは、地域社会への責任を果たし「安心・安全な、地域に尊敬される工場」をつくりあげていきます。

■受賞実績

2004年10月　高圧ガス保安協会会長賞受賞
2005年2月　資源エネルギー庁長官賞受賞
2005年11月　東京消防庁予防部長賞受賞
2006年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2006年7月　消防訓練審査会優勝受賞
2007年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年2月　関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞受賞
2008年2月　省エネルギーセンター会長賞受賞
2009年2月　エネルギー管理優良工場経済産業大臣賞受賞

■ 環境関連法データ

水質（下水道法）　放流水水質分析（下水道放流）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	4,400	24	2,000
pH	5.7～8.7	7.7	6.7	7.1
BOD（mg/l）	300	24	0.8	4.2
SS（mg/l）	300	16	ND	4.0
N-ヘキサン（mg/l）	5	3.2	ND	0.2
全リン（mg/l）	16	11	ND	1.9
全窒素（mg/l）	120	18	1.9	5.4
亜鉛含有率（mg/l）	2	0.29	0.11	0.2
フッ素化合物（mg/l）	8	0.93	0.19	0.8

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、都条例）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
コージェネ（都市ガス）	NOx［ppm］	35	20	14	16
	ばいじん［g/Nm^3］	0.05	ND	ND	ND
乾燥炉（都市ガス）	NOx［ppm］	230	87	7	23
	ばいじん［g/Nm^3］	0.2	0.005	ND	0.002

ND：定量下限値以下（検出されない）

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			
1	亜鉛の水溶性化合物	9.4	0	0	2.7	0.1	0	0	6.6
20	2-アミノエタノール	2.2	0	0	0	0	0	2.1	0.1
53	エチルベンゼン	51	35	0	0.1	0	1.2	2.4	12
57	エチレングリコールモノエチルエーテル	9.4	9.4	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	140	83	0	0.2	0	2.8	6.4	50
133	酢酸2-エトキシエチル	11	11	0	0	0	0	0	0
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	3.6	0.7	0	2.6	0	0	0.3	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	82	41	0	0.1	0	8.4	1.8	31
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	14	12	0	0	0	0.7	0.8	0.2
300	トルエン	170	62	0	0.3	0	0	2.8	100
309	ニッケル化合物	1.6	0	0	0.7	0.3	0	0	0.6
392	ノルマルヘキサン	37	2	0	0	0	0	0	35
400	ベンゼン	6.6	0.4	0	0	0	0	0	6.2
411	ホルムアルデヒド	1.4	1.3	0	0	0	0	0.1	0
412	マンガン及びその他化合物	14	0	0	1.0	0.1	0	0	13
438	メチルナフタレン	8.2	0.4	0	0	0	0	0	7.8

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

新田工場

ISO14000認証取得
2000年3月27日

工場概要

所在地	群馬県太田市新田早川町10番地1
主要製品	中型および小型トラック用エンジン 大型および中型トラック用トランスミッション　中型トラック用アクスル
正社員数	1,400人
敷地面積	393,932 m^2
延床面積	181,849m^2

環境方針

1．地域との融和、環境との共生
2．未然防止を基本に
3．法規等の順守
4．ムダを出さない、ムダに使わない
5．一人ひとりの気持ちから

「人と環境にやさしい、綺麗な工場」を目指します

緑豊かな新田工場は、「新田工場環境方針」のもと、常に環境への影響を考えながら、環境保全および改善活動を推進しています。

とくに、生産活動のより上流で環境影響の元を絶つ取り組みを充実させ、環境リスク発生の未然防止に努めています。また順法の監視・維持はもとより、さらなる環境負荷低減への取り組みとして、地球温暖化防止のためより高い目標に全員でチャレンジしてまいります。地域との融和では、永年培ってきた信頼関係をさらに強固なものとして定着させ、苦情のない「人と環境にやさしい、綺麗な工場」をつくりあげていきます。

■受賞実績

1999年度　関東通商産業局長（電気部門）表彰受賞
2001年度　関東経済産業局長賞（熱部門）表彰受賞
2002年度　資源エネルギー庁長官賞（電気部門）表彰受賞
2003年度　経済産業局省エネ活動優秀グループ賞受賞
2004年度　資源エネルギー庁長官賞（熱部門）表彰受賞

■環境関連法データ

水質（水質汚濁防止法、県条例、地元自治体との環境汚染防止協定）
放流水水質分析（河川放流･････放流先：早川経由利根川）

項目	規制値	最大	最小	平均
排出量（m^3/日）	-	640	0.1	360
pH	6.0～8.0	7.9	7.2	7.5
BOD（mg/l）	10	1	0.5	0.9
SS（mg/l）	15	2	1	1.8
N-ヘキサン（mg/l）	3	1	ND	0.9
全リン（mg/l）	60	0.1	0.05	0.1
全窒素（mg/l）	120	12	6.4	8.4
亜鉛含有率（mg/l）	1	0.13	0.04	0.1
フッ素化合物（mg/l）	1.5	0.5	ND	0.2

ND：定量下限値以下（検出されない）

■大気（大気汚染防止法、県条例、地元自治体との環境汚染防止協定）

施設名	測定項目	規制値	最大	最小	平均
連続炉1号（灯油）	NOx［ppm］	180	100	52	86
	ばいじん［g/Nm^3］	0.1	0.007	ND	0.004

■化学物質（PRTR法）

（単位：t/年）

政令番号	第1種指定化学物質	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	水質	廃棄物	公共下水道			
1	亜鉛の水溶性化合物	1.6	0	0	0.5	0	0	0	1.1
20	2-アミノエタノール	1.1	0	0	0	0	0	0.8	0.3

31	アンチモン及びその化合物	5.7	0	0	0.1	0	0	0	5.6
53	エチルベンゼン	13	12	0	0	0	0	0	0.5
71	塩化第二鉄	44	0	0	0	0	0	0	44
80	キシレン	24	18	0	0	0	0	0.3	6.1
87	クロム及び3価クロム化合物	58	0	0	1.2	0	0	0	57
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	6.3	0.2	0	6.1	0	0	0	0
277	トリエチルアミン	85	0	0	0	0	0	85	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	17	9.5	0	0	0	0	0	7.4
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	6.6	6.6	0	0	0	0	0	0
300	トルエン	31	27	0	0.1	0	0	0	3.9
302	ナフタレン	8.2	0	0	0	0	0	0	8.2
309	ニッケル化合物	1.0	0	0	0.1	0	0	0	0.9
349	フェノール	9.6	0	0	0	0	0	9.6	0
392	ノルマルヘキサン	1.5	0.1	0	0	0	0	0	1.4
411	ホルムアルデヒド	1.1	1.1	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	8.3	0	0	0.6	0	0	0	7.7
438	メチルナフタレン	48	2.4	0	0	0	0	0	46
448	4,4-MDI	80	0	0	0	0	0	0	80
453	モリブデン及びその化合物	23	0	0	0.1	0	0	0	23

- 取扱量が1t以上が対象（特定第1種指定化学物質は500kg以上）
- 除去処理量：焼却処理・分解処理などにより除去した量
- 消費量：反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外へ持ち出される量

青梅部品センター

ISO14000認証取得
2002年1月11日

トラック・バスのサービス部品の管理と、
全国へ向けた発送をおこなっています。

センター概要

所在地	東京都青梅市末広町1丁目5番1号
主要製品	サービス部品の管理・発送
正社員数	80人
敷地面積	26,288 m^2
延床面積	31,533 m^2

環境方針

1. 環境との共生
2. 未然防止と継続的改善
3. 法規等の順守
4. スリムなモノの流れ

5．一人ひとりの気持ちから

日高配車センター

ISO14000認証取得
2002年1月11日

完成した製品（トラック）の一括管理、
架装メーカーなどへ発送をおこなっています。

センター概要

所在地	埼玉県日高市上鹿山689番地1
主要製品	製品（トラック）の管理・発送
正社員数	15人
敷地面積	265,989 m^2
延床面積	10,311m^2

環境方針

1．環境との共生
2．未然防止と継続的改善
3．法規等の順守
4．スリムなモノの流れ
5．一人ひとりの気持ちから

アメリカ

会社概要

会社名	米国日野製造（HINO MOTORS MANUFACTURING U.S.A., INC.）
本社所在地	37777 INTERCHANGE DRIVE, FARMINGTON HILLS, MI 48335
事業内容	日野車製造、補給部品販売、自動車用部品製造販売　ほか

環境方針

1．環境への悪影響軽減に貢献する
2．公害防止とリサイクル活動に、より一層努力する
3．決められた規則に従い、逸脱しない
4．常に改善し続ける

■環境関連データ

CO_2排出量	1,855 t-CO_2
焼却廃棄物	188 t
直埋廃棄物	9 t
水使用量	4 千m^3

※環境方針・環境関連データはカリフォルニア工場のデータです。
　なお、ほかの2つの工場については公開に向けて集計中です。

タイ

会社概要

会社名	タイ日野製造（HINO MOTORS MANUFACTURING (THAILAND) LTD.）
本社所在地	NO.99 MOO 3, THEPHARAK ROAD, SAMRONG NUA, MUANG SAMUTPRAKARN, SAMUTPRAKARN PROVINCE, THAILAND
事業内容	日野製トラック・バスの製造販売、自動車用部品製造販売

環境方針

1. 地球環境との調和
2. 環境汚染防止体制の強化とその運営
3. 法律と他環境方針の遵守
4. エネルギーと天然資源の保護
5. 廃棄物処理
6. 社員の意識付け
7. 環境方針公開

■環境関連データ

CO_2排出量	26,179 t-CO_2
焼却廃棄物	0 t
直埋廃棄物	1,752 t
水使用量	347 千m^3

インドネシア

会社概要

会社名	インドネシア日野製造（PT. HINO MOTORS MANUFACTURING INDONESIA.）
本社所在地	KAWASAN INDUSTRI KOTA BUKIT INDAH BLOK D1 NO.1 PURWAKARTA 41181, JAWA BARAT, INDONESIA
事業内容	日野製トラック・バスの製造販売

環境方針

1. 環境との融和、環境との共生
2. 予防を基本に
3. 法則等を遵守する
4. ムダを出さない、ムダに使わない
5. 一人ひとりの自覚

■環境関連データ

CO_2排出量	4,982 t-CO_2
焼却廃棄物	160 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	67 千m^3

パキスタン

会社概要

会社名	日野パック（HINOPAK MOTORS LIMITED.）
本社所在地	D-2, S.I.T.E. MANGHOPIR ROAD KARACHI-75700, PAKISTAN
事業内容	日野製トラック・バス製造販売、ボデー架装および販売、補給部品の輸入販売

環境方針

1. 汚染防止と環境負荷低減の促進
2. エネルギーほか、資源の有効利用
3. 環境法規等の順守
4. 環境パフォーマンスの継続的改善
5. 従業員等への教育・訓練・啓発

■環境関連データ

CO_2排出量	2,118 t-CO_2
焼却廃棄物	45 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	69 千m^3

中国（上海）

会社概要

会社名	上海日野（上海日野発動機有限公司）
本社所在地	中華人民共和国　上海市奉賢区　環城東路179号
事業内容	日野ブランドエンジンの製造・販売

環境方針

1. 国家の法律、法規を守る
2. 環境保護は自分自身から始まる
3. 資源とエネルギーを有効利用し、無駄を防止する
4. 社員の環境保護意識を高める

■環境関連データ

CO_2排出量	2,654 t-CO_2
焼却廃棄物	162 t
直埋廃棄物	0 t
水使用量	38 千m^3

ベトナム

会社概要

会社名	日野ベトナム（HINO MOTORS VIETNAM, LTD.）
本社所在地	HOANG LIET, HOANG MAI, HANOI, VIETNAM
事業内容	日野製トラック製造販売、補給部品の輸入販売

環境方針

1. 法的要求事項並びに関連規制の順守
2. 重大な環境影響の最小化を目的とした人的資源の確保
3. 資源消費の最小化のためのEMSの継続的改善
4. 環境方針の公開を通じた社員の意識向上と責任の自覚

■環境関連データ

CO_2排出量	212 t-CO_2
焼却廃棄物	4 t
直埋廃棄物	2 t
水使用量	2 千m^3

■グループ会社におけるISO・EMD取得状況

日野グループの取得状況

対象会社		2009年度実績		
		対象会社数	ISO登録社数	EMD全拠点認定販社数
国内	関連会社	23	21	-
	販売会社	42	5	35
海外	関連会社	10	6	-

■2010年度の日野グループ生産拠点における主要環境データ

■CO_2排出量

（単位：千t-CO_2）

	2008年度	2009年度	2010年度
日野自動車	168	164	188
国内生産系関連会社	100	78	127
海外生産系関連会社	30	30	38

■焼却廃棄物量

（単位：t）

	2008年度	2009年度	2010年度
日野自動車	538	474	901
国内生産系関連会社	2,139	1,050	1,114
海外生産系関連会社	348	326	559

■直接埋め立て廃棄物量

（単位：t）

	2008年度	2009年度	2010年度
日野自動車	5	0	3.1
国内生産系関連会社	3,822	223	476
海外生産系関連会社	1,583	1,206	1,762

■水使用量

（単位：千m^3）

	2008年度	2009年度	2010年度
日野自動車	1,880	1,678	1,971
国内生産系関連会社	1,368	950	1,133
海外生産系関連会社	448	428	527